

《 8日間限定
特別ツアー 》

今しか見られない可憐な花

「オオウメガサソウ」ガイドツアー開催

2019年6月8日(土)～6月16日(日)〈休園日6月10日を除く〉

- 時間/10:00～14:50(人数が集まり次第随時出発、14:00最終受付)
- 定員/各回30名(当日受付)
- 参加費/無料
- 協力/茨城生物の会、里山パートナー
- 場所/ひたちなか自然の森
- 受付/西口広場休憩所
- 雨天/中止

国営ひたち海浜公園では、『ひたちなか自然の森』にて、オオウメガサソウの花が咲き始めました。環境省レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されている希少な植物で、神秘的な佇まいとうつむきがちに咲く様子から“森の妖精”とも呼ばれています。開花に合わせて、普段は利用制限されている特別保護区内に入ることができる、期間限定のガイドツアーを開催します。



オオウメガサソウ (2018年5月27日撮影)

◆小さな草状の常緑低木

オオウメガサソウは、ツツジ科ウメガサソウ属の常緑低木で高さは10～15cm。主に、日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壌に地下茎を伸ばして生育しています。直径1cmほどの可憐なピンク色の梅に似た花を、笠のように下向きに咲かせるため「ウメガサ」の名が付き、よく似た「ウメガサソウ」よりも大きいことから「オオウメガサソウ」と名付けられました。

◆本公園が南限の準絶滅危惧種

北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では、北海道、青森県、岩手県および本公園など、ごく限られた場所に自生しています。茨城県レッドデータブックでは絶滅危惧ⅠA類、環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧に指定されており、本公園が日本の自生南限地とされています。

◆公園ボランティア“里山パートナー”がご案内します

希少な植物が生育する里山環境の保全を目的に発足した、公園ボランティア「里山パートナー」。オオウメガサソウ生育地の調査や、マツの移植作業・広葉樹の伐採をはじめとした森の管理作業を行い、生育環境の維持に努めています。ガイドツアーでは、オオウメガサソウだけでなく、同時期に咲く植物など、『ひたちなか自然の森』に残された豊かな自然についてご紹介いたします。



ガイドツアーの様子 (2018年6月3日撮影)



オオウメガサソウ生育調査の様子 (2018年12月20日撮影)

Information

6月16日(日)・22日(土)には
「ハナハタザオ」ガイドツアーを開催

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 [https:// hitachikaihin.jp](https://hitachikaihin.jp)